

# 農作物の当面の技術対策について

令和7年4月25日  
農業技術課

## <天気概況>

甲府地方气象台から、今後の気温はかなり高温で推移するとの発表になっています。

週間天気予報によると、4月28日に一時的に降雨があるものの、2週間予報では高温で推移し、降水量は少ない予報となっています。

今後の気象推移に注意し、農作物の管理には注意して下さい。

山梨県の天気予報（6日先まで）								
2025年04月25日05時 甲府地方气象台 発表								
日付	今日 25日(金)	明日 26日(土)	明後日 27日(日)	28日(月)	29日(火)	30日(水)	01日(木)	
山梨県	曇後晴 	晴 	晴時々曇 	曇一時雨 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	
降水確率(%)	-/0/10/10	0/0/10/10	10	50	40	20	30	
信頼度	-	-	A	C	C	A	A	
甲府 気温 (℃)	最高	26	23	26 (23~28)	21 (18~26)	22 (21~27)	25 (22~28)	27 (24~30)
	最低	-	12	7 (6~9)	11 (8~12)	11 (8~13)	11 (8~13)	12 (10~14)

### 1週目の予報（日別）

	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	1 木
当日	26	24	26	21	22	25	27	
当日	17	11	7	11	11	11	12	

### 2週目の予報（5日間平均）

	2 金 (30~ 4日)	3 土 (1~ 5日)	4 日 (2~ 6日)	5 月 (3~ 7日)	6 火 (4~ 8日)
当日	26	27	27	27	27
当日	11	12	12	13	14

	かなり高い
	高い
	平年並
	低い
	かなり低い

<気象予報> 気象庁 4月24日時点

## 1 果樹

### <共通>

- モモ、スモモ等は結実～幼果期、デラウエアは早場では間もなく花粉離散となり、大房系ブドウは展葉期となっている。
- 高温の乾燥防止は定期的なかん水に努める。7～10日間隔で、1回あたり20～30mmの十分なかん水を行う。
- 草生栽培園では、定期的な草刈りを実施し、水分競合を避ける。
- 樹冠下は、わらマルチや草刈により土壌の乾燥を防止する。特に苗木や若木では徹底する。
- かん水施設等のない園では、樹冠下を中心に1樹当たり200～300リットルをかん水する。
- アザミウマ類やハダニ類の発生が多くなることが懸念されるため、定期的な防除を徹底する。

### <施設ブドウ>

- 果粒軟化期以降からは、高温多湿によるムレ(果粒への結露)を抑えるため、換気が遅れないよう注意する。

### <ブドウ>

- 高温で推移する場合、生育が前進するため、特に早場地域や生育促進剤の利用により展葉が進んでいる園では、防除が遅れないように注意する。また、黒とう病対策として、展葉初期の防除(チオノックフロアブル)が遅れないよう注意する。

### <立木類>

- モモせん孔細菌病対策として、落花直後から7～10日間隔で防除剤(アグレプト液剤・水和剤、マイコシールド)を散布する。また、黒星病の重点防除時期でもあるため、防除を徹底する。
- モモでは、満開後20～40日頃(第1肥大期)に急激な摘果を行うと、核割れ果、変形果、生理落果の発生を助長するため段階的に行う。
- 結実が不足している樹では、側枝単位での収量調節を実施する。特に新梢が徒長しやすいため、新梢管理を徹底する。

## 2 野菜

### <施設野菜>

- 施設内が高温・乾燥にならないよう、日中は25～28℃前後を目標に換気し、適宜、かん水する。

<スイートコーン>

- 開花・受粉期の水不足は品質等に影響することから、適宜、かん水する。

<露地野菜>

- 定植後に乾燥が続く、朝方に葉がしおれるような場合は、かん水する。

### 3 水稲

- 育苗にあたっては、気象の推移に応じて、きめ細かい管理を行う。特に、保護苗代及び施設育苗においては、最高気温に注意し、トンネルまたはハウスの換気・水管理等に十分注意する。

### 4 花き

- 鉢花・洋ランは、日中、ハウス内が高温にならないよう、遮光や換気を徹底する。また、鉢の乾燥に注意し、こまめな水やりに努める。